

特別顧問・特別参与が従事した職務の遂行に係る情報（事後公表）

【担当課：政策企画室広報担当】

議 題	大阪市の広報について（改善に向けた意見聴取）
日 時	令和8年4月20日（月曜） 9時30分～11時10分
場 所	大阪市役所本庁舎5階秘書課会議室
出 席 者	（特別顧問・特別参与）： 清水特別参与、寺本特別参与 （職員等）： 政策企画室（市民情報部長 外）
論 点	令和7年度企画広報、民間ネット調査について報告外
主 な 意 見	（令和7年度企画広報について） ・数字という、誰もが直感的に理解しやすく、わかりやすい切り口であったため、非常に機能した広報となったと思う。 ・この数字を使ったフォーマットは、継続して使えると考えるが、メリットが明確なテーマがよい。 ・この結果から、メリットがわかりづらいものは伸びない、ヤングファミリー・シニアに強く、ビジネス層に弱い、LP（ランディングページ）は十分機能したが、施策の周知には市HPへの回遊を誘導する工夫が必要と考えらえる。 ・今回のフォーマットであれば、各区における特徴的な項目を使って、「〇〇区人と△△」という各区の個性を出した広報ができておもしろい。 （令和7年度民間ネット調査について） ・市の広報がまだまだ見られていないと感じており、見られていない人の割合を10%減らすなどの目標を立てるほうがよい。 ・「区の広報紙を読んでいる割合」を高めるには、市民自身に関係があることが直感的にわかるような情報を前面に打ち出した紙面づくりをすべき。 ・動画については、視聴前に時間（長さ）を確認する傾向があり、ショート動画が有効。ヘッドライン、アイコンが重要。市の情報を必要とする時期などマッチングが有効。 ・SNSは、ユーザーと同じ目線で見たいと思うメリットのあるものや、分かりやすい入口を考えるとよい。
結 論	本日の助言を踏まえ、改善に向け検討を進める。
説 明 等 資 料	
備 考	
関 係 所 属 （ 部 課 ）	政策企画室市民情報部広報担当